

平成24年度市政懇談会 タウンミーティング

9月11日から10月31日にかけて、市内8団体の皆さまから市政全般にわたり、貴重なご意見やご提案をいただきました。



市内団体の積極的な参加を募る

タウンミーティングは、地域の課題や将来のまちづくりについて、市長が直接市民から意見や提案を聴く機会として、合併初年度から地区や町内会単位で実施してきました。

本年度は、従来からの地区や町内会単位でなく、市長と建設的な意見交換を希望する市内の団体を広く公募し、申込みがあった8団体を対象に実施しました。

「下岬区町内会長OB会」、「佐倉三区老人会」、「御前崎災害支援ネットワーク」、「御前崎市花の会」、「女岩区町内会」、「御前崎灯台を守る会」、「朝比奈地区」、「本町町内会」の計8団体から152人が参加し、石原市長を始め市の執行部と活発な意見交換を行いました。

市長が示すまちづくりの方向性

本年度、市の一般会計予算は、160億5千万円でスタートしました。昨年度と比べ7億3千万円の減となり、財政的には非常に厳しい状況にあることは確

かではありますが、社会資本整備が遅れている地域は、今後、整備する中で、全ての市民がこの御前崎市に住んで良かったと実感できるように、そして子どもたち、孫たちに、このまちをこれからも愛していただけるように、しっかりとしたまちづくりを進めていきます。

平成24年度の主な取り組みとしては、

- ・ 牧之原市との消防救急業務の分離に伴い誕生した御前崎市消防本部と消防署を、市内中心部へ移転することで、さらなる機能充実を図ります。

- ・ 地震、津波対策としては、地域の皆さまのご協力をいただく中で命山というようなものをつくって作らせていただきたいと思います。

- ・ 農業振興策としては、県の農



業技術研究所砂地試験場の跡地に、農産物加工施設や直売施設に道の駅を併設した農業振興拠点施設を整備していきます。

- ・ 観光施設整備事業は、日本財団の協力を得て灯台周辺の整備事業を進めていきたいと考えています。

- ・ 浜岡中学校は昭和33年に建設され既に50年が経過しており、早期の建替えが必要と判断し、中学校建設委員会を立ち上げて検討に入っています。御前崎中学校を含んだ学区の編成などの問題もしっかりと議論していきます。

タウンミーティングにおける皆さまのご意見を市政に反映し、今後も市民と行政が一丸となり、しあわせを実現できる御前崎市の実現をめざして行政運営に取り組んでまいります。